

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

Ⅱ. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R5 ウエイト	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値 〔見込値〕	R6 目標値	R6 ウエイト	中期経営計画 (R3~R7)		R6目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R6 目標値	最終年度 目標値		
② 啓発事業、支援業務の実施	地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数		人	10	5,078	5,100	5,240	5,300	10	5,000	5,000	R5年度は中期経営計画の目標値(5,000人/年)を達成したため、R6年度は更にR5年度実績を上回る目標とする。	大阪府や市町村と協働して、環境イベントや出前講座、セミナー等の啓発機会を開拓するとともに、Webを活用した啓発にも努める。
	研修・活動機会の提供により支援した推進員の延べ人数		人	10	154	155	159	160	10	150	150	R5年度は中期経営計画の目標値(150人/年)を達成したため、R6年度は更にR5年度実績を上回る目標とする。	大阪府と共同して研修を行うとともに、SNSやメールを活用して、出前講座等の活動機会の提供や推進員のニーズ把握を行うなど、推進員との連絡調整を綿密に行うことにより、推進員活動の活性化に努める。
③ 府民の森の利用促進	SNSによるちはや園地の魅力発信に対するフォロワー数等		人	10	654	714	1,037	1,097	10	599	659	植物の関花・野鳥・積雪などの自然情報、自然観察会などのイベント情報、路線バスアクセス情報などの情報発信をFacebook(「ちはや園地・ちはや星と自然のミュージアム」)、Instagram(「@chihaya_enchi(ちはや星と自然のミュージアム)」)、YouTube(「ちはや星と自然のミュージアム・自然情報チャンネル」)等により行い、園地のファンとなるこれらのフォロワー数・登録者数を中期経営計画通り60人(累計1097人以上)に増加させる。	大阪随一の高地である金剛山の貴重な動植物等の自然情報などをわかりやすくタイムリーに発信し、その魅力を広く府民に伝え、来園者を増やす。 令和5年度は、イベント参加者など府民の森利用者に登録を呼びかけたこと、積雪や開花状況などのアクセス・自然情報の提供に取り組んだこと等により、大幅に登録者が増加した。次年度以降は新規のファンの登録拡大に取り組み、年間新規登録者数+60人を目指す。
④ 市町村による森林環境譲与税を活用した森林整備・木材利用の促進支援	森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数(森林を有する33市町村中)		市町村	10	4	5	× 1	5	10	5	6	R7年度で、森林面積1千ha以上の市町村は100%(17/17)、1千ha未満の市町村は50%(8/16)、累計25市町村で森林整備が着手されることを目指し、毎年段階的に実績数が増えるよう支援を行ってこととしており、R6年度の目標は5市町村とする。	最終的には森林を有する33市町村で適切かつ継続的な森林整備が行われるよう、各市町村の森林状況等を勘案した効果的な取り組みの実施について、大阪府と連携して支援を行っていく。
	森林環境譲与税により大阪府産材を使って実施した木材利用の事業数		件	10	11	14	[15]	17	10	17	21	R7年度で、大阪府産材を使って実施した木材利用の事業数がR2年度実績(7事業)の3倍となることを目指し、毎年段階的に実績数が増えるよう支援を行っていく。	各市町村で行う木材利用事業について、大阪府産材が可能な限り活用されるよう、市町村への普及や支援はもとより、大阪府産材の安定供給体制の構築に向けて木材関係事業者への働きかけ等も行っていく。

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

⑤ 安定的財政基盤の確立	一般正味財産増減額		千円	10	△ 38,264	△ 37,214	[△ 26,100]	↓ △ 37,214	10	△ 37,214	△ 37,214	中期経営計画の目標達成に向け、各事業において補助金及び委託料等収入の確保を図るとともに、効率的かつ有効的な事業実施と費用支出に努める。	公益目的支出計画の進捗を図りながら、補助金や委託料の確保はもとより、直営事業等収益事業における収入の向上に努める。
--------------	-----------	--	----	----	----------	----------	------------	------------	----	----------	----------	---	---

【凡例】

- ・☆はR6年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

■ 目標値未達成の要因について

様式 4

別紙 2

法人名

一般財団法人 大阪府みどり公社

〔1〕

成果測定指標	単位	R5年度目標値	R5年度実績値	目標値との差
森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数 (森林を有する33市町村中)	市町村	5	1	△ 4

未達成の要因		要因分析（要因と考える根拠）							
①	市町村による森林整備着手に向けた準備作業等の遅延	<p>・公社は、市町村向けに森林整備の必要性や実施手法等を学ぶ研修会の開催や森林整備に未着手の市町村への個別の働きかけ等を実施したが、市町村において、森林の整備計画の策定作業に時間を要したこと、森林整備にあたって森林所有者の特定や同意の取得に時間を要している等、準備作業が遅れたため。</p>							
	関連項目名	森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数	単位	市町村	R5当初想定値	5	R5実績値	1	差

要因分析を踏まえた今後の対応
<p>・これまで、市町村における整備計画の策定作業や森林整備の準備作業が計画どおり円滑に行われるよう、研修会の開催や各市町村への巡回指導時の働きかけ等を通じて、森林整備の必要性、実施手法、先進事例の紹介等を行い、市町村支援を行ってきた。</p> <p>・令和6年度は、これらに加え、次のとおり取組みを強化する。</p> <p>①引き続き研修会の開催や巡回指導等の取組みを継続するとともに、その際には、着手済市町村の事例やスケジュール、着手までの課題等をより具体的に提示・説明を行う。</p> <p>②各市町村の実情に応じたより個別具体的な支援の充実を図るため森林整備未着手の全市町村に対して早期にヒアリングを実施し、森林整備の着手に向けた各市町村の課題の抽出を行う。加えて、ヒアリングを行う際には、大阪府が市町村に提供している森林の植生や地形図等のデータをもとに法人から市町村毎の森林整備の方向性案の提案等を行い、着手に向けた準備作業の支援を行う。</p> <p>③②にて抽出された市町村毎の課題に対して個別に技術的な助言（※）を行う。</p> <p>（※法人が持つこれまでの支援実績やノウハウをもとに、森林の状況が類似している市町村の着手までの作業工程や各市町村内で整備が必要と考えられる森林情報、所有者の特定等が困難な森林での所有者調査方法や、同意取得の方法など）</p> <p>④各市町村に対して年間を通して定期的に進捗のフォローアップ等を行う。</p>